

社会福祉法人 敬天会
指定障害者支援施設 水明苑
グループホーム つばさ寮

令和7年度第1回地域連携推進会議 議事録

1.日 時 令和7年12月22日(月) 10:00~11:10

2.会 場 水明苑 会議室

3.出席者 GH入居者 畑中、津谷、村山
ご家族様 保護者会より 高橋委員
推進委員 大沼委員(大石田町保健福祉課長)
松山委員(仲通り区長)
つばさ寮管理者 阿部
世話人 脇本
サビ管 伊東
事務局 菅埜(水明苑 事務長)

4.次第に添って会議を進行

- 1) 開会の挨拶
- 2) 自己紹介
- 3) 管理者の挨拶
- 4) 会議の目的についての説明
施設概要説明・運営状況報告
資料に添って

5) 質疑応答・意見交換

・利用者様より

畑中様 つばさ寮で話すことが好き。

村山様 DVD・テレビを見るのが好き。ラジオを聴くのも楽しみ。

津谷様 折り紙をするのが好き。買い物に行って折り紙と塗り絵を買ってきた。

つばさ寮で過ごすときに必要。

・高橋委員(保護者会)より

つばさ寮を立ち上げた時、水明苑の保護者会長をしていた。地域に根ざした施設、グループホームになるように保護者会も協力し、地域の住民を行事等に招いたり、夏祭り等でも地域へのお礼として協力を行ってきた。

(夏祭り:模擬店 収穫祭:バザー、ラーメン提供)

・松山委員より

町内の行事で歌を歌ってくれる方もおり、楽しい時間となっている。

町内会費も頂いており、町内の一員として一緒に活動している。世話人さんより

町内の人と利用者様を繋いで頂き、良い関係を築いている。

・大沼委員より

水明苑だよりを見せていただき情報を得ている。

コロナ禍になってから関わりが薄くなってしまっていた。

このような機会をきっかけに、町でできる事を協力していきたい。

・管理者より

地域移行については大石田町内の社会資源や状況、情報にアンテナを立て、また、本人や保護者の意向を確認しながら進めていきたい。つばさ寮に生活されている利用者様の地域に根ざした生活を進めることが第一歩である。今回の連携推進会議では顔合わせを行い、挨拶や声掛け等が、地域住民に広がるようにと考えている。また、地域との交流を見守って頂ければありがたい。

歴史のなかで培われてきたものがコロナ禍の6年間のなかで失ったものもある。むかしからあったものを目指しながら新しいことを築いていく。今年は地域に開いていく助走期間にしており、来年は地域の皆さんを招きいれ交流を行っていく。

グループホームは1名の空きがある。本人の意思決定を尊重しながら入居利用者を募集していく。

6) グループホーム見学

会議後につばさ寮に移動し見学を行う。

利用者様2名も同行し見学の案内を行っている。

家庭的な環境のなかで生活して頂いている様子を感じて頂いた。

7) 質疑応答

特になし

8) 閉会の挨拶